



恐竜のまちづくり最前線

パート 13



今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

新種のモササウルスを広めよう PRコーナー設置

昨年12月に新種として発表されたむかわ町産のモササウルス類「フォスフォロサウルス・ポンペレガンス」について町内外のたくさんの人に知っていただくため、道の駅むかわ四季の館にPRコーナーを設置しました。穂別博物館協力のもと、冬休み期間限定で博物館が所蔵している複製標本の展示も行いました。現在、標本の展示は終了していますが、かわりに頭骨の実物大パネルを掲示し、ポンペレガンスの特徴をわかりやすく解説しています。

恐竜化石PRコーナーの設置から1年、今後も様々な形で活用していきたいと考えております。四季の館をご利用の際はぜひご覧ください。



PRコーナーの様子。右下が穂別博物館所蔵の複製標本。

マーストリヒチアの恐竜たち ②トリケラトプス



トリケラトプスは角竜類の中では最大のもので、化石は北アメリカから見つかっています。名前の由来にもなった3本のツノと、えり飾りのように大きく発達した後頭部が特徴です。ツノやえり飾りの大きさや形は大人になるにつれて変化してわかっており、パートナーをめぐるアピールに使われたようです。またえり飾りには他のトリケラトプスのツノによってつけられた傷やティラノサウルスの噛みあとが残されたものが見つかり、単なる飾りではなく、身を守るための盾としても使われていたことが明らかになっています。

文・イラスト：太田晶（地域おこし協力隊）

人々の動き

平成27年12月31日現在

- ▶ 人口 **8,727人(-55)**
- ▶ 男性 4,298人(-30)
- ▶ 女性 4,429人(-25)
- ▶ 鶴川地区 5,930人(-46)
- ▶ 穂別地区 2,797人(-9)
- ▶ 世帯 **4,378世帯(-41)**

※()は前月比。住基法の改正により、外国人数を含まず。

平成27年12月1日～31日
出生 3人 死亡 13人
転入 12人 転出 57人

交通死亡事故ゼロ日数

平成27年12月31日現在



吹雪や大雪などの悪天候時に運転するときは、道路状況等をしっかりと確認してからでかけましょう。路面状況に合わせた運転を！

